



悪貨は良貨を駆逐する!!!

横浜市内のマンションが傾く事件が発生した。杭がしつかりした地層に到達していなかったのだ。

杭を設置するとき、

謂わば大きなドリルで地面に穴を掘る。固い地層に達すると、ドリルを回すのに急に大きな力が必要になる。それはドリルを回すモーターに流す電気を計れば分かる。その記録が杭が固い地層に達した証拠になる。

さて、本当に深い所まで掘るのは時間も人手もかかる。途中で掘るのを止めた。でも、ちゃんと工事したという証拠が必要なので、他の杭のデータを流用したり、鉛筆で修正して誤魔化したのが今回。

建築確認では

建築確認の時、これ

らの証拠は精査される。「この杭のデータ変じゃないか？」と地方自治体の建築主事に指摘されたら大変。袖の下など通じない。

地方自治体の建築主事が行っていたこの業務は一九九九年に民間の検査機関も行えるようになった。

民間検査機関はいくつもあり、建設会社が選択する事が出来る。

「A検査会社じゃ、あれこれ五月蠅い事を云われて大変だったよ」

「それじゃ、今度はB検査会社に検査を頼むか」となる。

検査の民営化により、いい加減な検査会社が栄え、厳格な会社には仕事が無くなるというようになるといけないことにならないか。

みなさんはどう思われますか？



三陸の入江 船越湾

岩手県上閉伊郡大槌町浪板海岸
職場美術協議会岩手写生会(合宿)にて

船越湾に面した岩手県大槌町、波板海岸には海面から数mの波返しのある防波堤があった。

しかし、3・11の大津波はそんな防波堤はお構いなしに押し寄せた。

防波堤の傍にある六階建ての「波板観光ホテル」は、三階まで津波に襲われ壊滅的な打撃を受けた。が、「三陸ホテル・はまぎく」として復興した。

そこが写生会の宿舎であった。「地震があったら最上階に」と自分に言い聞かせたが・・・

防波堤の傍に立つと津波が押し寄せたことなど信じがたい静かな海。若布の養殖をしているのだろう、幾つものブイが浮かんでいる。

海域を調査しているのであろうか、数人が乗り込んだ小舟が、湾内のあちこちを廻っていた。